

月刊ダウンロードガイド

最新のオンラインソフトをネットでGet

先月から始まったこの連載は、インターネット上で入手できるホットなフリーウェアやシェアウェアの話題を紹介するコーナーだ。日々ウェブをさ迷い歩き、パソコン生活を便利にするソフトウェアを探し続けているみなさんに、道しるべとなるような最新の情報をお届けしよう。

vol.2

今月のバージョンアップ

バージョンアップが速いEdMaxに注目

電子メールソフトEdMaxが5月から6月にかけて4回バージョンアップし、Ver.2.25となった。フリーソフトウェアのEdMaxフリー版もVer.2.24.1Fとなっている。頻繁なバージョンアップは、ユーザー数が大きく伸び、作者が要望に応じて次々と新しい機能を取り入れようとしていることを表している。これからのEdMaxに注目だ。

ソフト名	バージョン	機能	フリー/シェア	URL
Win				
ACDSee32	2.41	画像表示ソフト	シェア40ドル	http://www.acdsystems.com/
AL-Mail32	1.10	電子メールソフト	シェア2,000円	http://www.almail.com/
Edit HTML	7.0b	HTMLエディター	シェア2,000円	http://member.nifty.ne.jp/hirotomo/
EdMax	2.25	電子メールソフト	シェア5,000円	http://www.bekkoame.ne.jp/~t.mzaki/
Explzh	2.86	圧縮&解凍ソフト	シェア1,000円	http://village.infoweb.ne.jp/~fwhv5283/
Hyper-Paint	8.2G	ペイントソフト	フリーウェア	http://www.d1.dion.ne.jp/~kiriman/
IrfanView	3.02	画像ビューワー	フリーウェア	http://stud1.tuwien.ac.at/~e9227474/
SCMPX	1.41	MP3プレイヤー	フリーウェア	http://70.nu/ch3/
UNLHA32.DLL	1.35	LHA形式ファイルの解凍&圧縮に使うDLL	フリーウェア	http://www.csdinc.co.jp/archiver/
WebLink	1.97	リンクチェック+FTPソフト	シェア1,500円	http://www.iris.dti.ne.jp/~a-kaneko/
Winamp	2.23	MP3プレイヤー	シェア10ドル	http://www.winamp.com/
Mac				
ARENA Internet Mailer	1.5.3	電子メールソフト	シェア3,800円	http://www.arena-p.co.jp/
File Buddy	5.1.1	ファイルユーティリティ	シェア39.95円	http://www.skytag.com/
Jedit	3.0(Rev3.0.2)	テキストエディター	シェア2500円	http://www.matsumoto.co.jp/
Musashi	3.1	電子メールソフト	シェア3500円	http://www.sonosoft.com/

今月のオンラインソフトサイト

バージョンアップのチェックなら Winsoft Now!!

定番ソフトを探すなら窓の杜、とにかくたくさんのソフトを探すならVectorへ行けばいいことはだれでも知っているだろう。しかし、今この瞬間に新しいバージョンのソフトが公開されたかどうかを調べたい場合は、個人が運営するホームページを見るのが一番だ。中でもWinsoft Now!!は、毎日何十ものオンラインソフトのバージョンアップ情報をトップページに掲載している。この連載の読者はWinsoft Now!!を見ることを日課に加えるといいだろう。バージョンアップのリストだけでなく、ソフトの詳しい紹介ページもあるので、じっくり探したい人にもおすすめできる。

<http://winsoft.lovely.to/>



スクリーンセーバーで地球外文明を探索する

SETI@home

Ver.1.0



Get It!

Mac Win

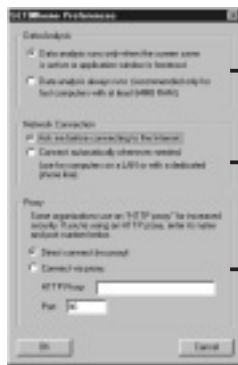
<http://setiathome.ssl.berkeley.edu/>

SETIとは、Search for Extraterrestrial Intelligence (地球外文明探索)の略だ。電波望遠鏡で収集した膨大なデータを世界中のパソコンを使って解析し、人工的な信号を見つけて地球外文明の存在を証明するために作られたソフトがSETI@homeだ。このプロジェクトに参加すれば、自分のパソコンが世界で初めて異星人を発見するかもしれない。

作者：SETI@home project
 種別：フリーソフトウェア
 動作環境：ウィンドウズ95/98、MacOS、UNIX

SETI@home の設定

SETI@homeのインストールが終了すると、最初に設定画面が表示される。プロキシサーバーを使っていないのなら、そのまま「OK」を押せばいいだろう。Ver.1.0では80以外のポート番号のプロキシサーバーに対応していないので注意。



スクリーンセーバーの起動中やアプリケーションがアクティブなときだけ解析するか、常に解析を続けるかを選択する。常に解析させるとパソコンの動作が遅くなるのでそのままにしておこう。

サーバーに接続する前に問い合わせるか、自動的に接続するかを選ぶ。これもそのままにしておく。

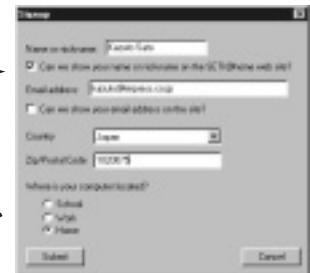
プロキシ経由で接続している場合は、プロキシサーバー名を入力する。

データを受信する

設定が終わると、SETI@homeプロジェクトのサーバー(カリフォルニア大学バークレイ校)に接続して、電波望遠鏡が集めたデータの一部を受信できる。



初めて接続する場合は、そのまま「OK」を押す。



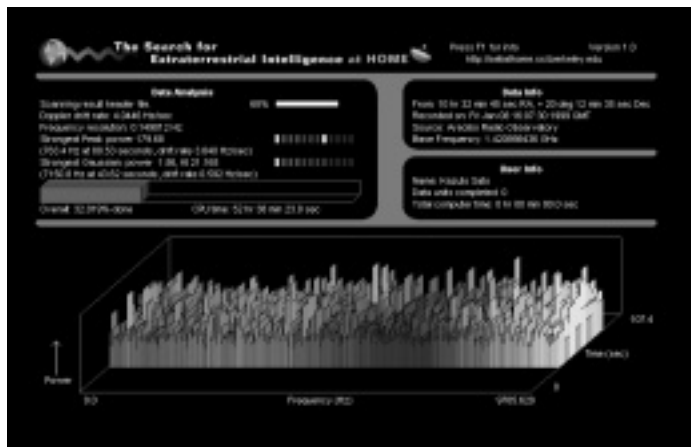
名前、電子メールアドレス、国名、郵便番号を入力する。「Submit」を押す前にインターネットに接続しておこう。



「Connect Now」を押せば、データの受信が始まる。

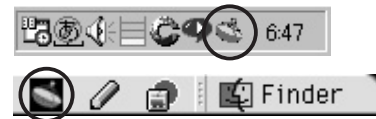
データを解析する

データの受信が終わったら、表示されているウィンドウを閉じよう。SETI@homeがスクリーンセーバーに設定されているので、パソコンが休んでいる間に自動的に起動してデータを解析するようになる。一度受信したデータの解析には150時間以上かかるので、毎日動かしていても1週間以上かかるだろう。



好きなときに解析したい場合は

スクリーンセーバーを使わずに解析したい場合はSETI@homeのアプリケーションを起動する。ウィンドウズではタスクバーのトレイに表示されるアイコンをダブルクリックする。マッキントッシュではメニューに表示されるアイコンをクリックして「Launch」を選ぶ。



結果を送信する

解析が終わるとSETI@homeはサーバーに結果を送信し、再び新しいデータを受信して解析を始める。SETI@homeのホームページでは、解析したデータ量の多い順に名前がリストアップされている。また、もし自分が解析した部分から地球外文明の信号が発見された場合は、共同発見者として名前が発表されることになる。

Get It!



Photonick
Ver.1.6

Mac

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA008636/>

作者：田中康之
種別：フリーソフトウェア
CD-ROM収録先：
Mac Photonick
動作環境：MacOS

デジカメが普及し、ホームページを持つことが当たり前になった現在では、グラフィックを趣味としない人でも画像処理ソフトは必需品だ。マッキントッシュにはオンラインソフトから市販品までさまざまな画像ソフトがあるが、中でもPhotonickは高性能ながらフリーソフトウェアで、市販のソフトと同等のタッチ機能を備えている。

まずはサムネイル表示から

Photonickを起動すると、まず「ビューシート」ウィンドウが開く。ここでフォルダー選択ボタンを押して、画像を保存してあるフォルダーを選べば、サムネイル画像が一覧表示される。タッチしたい画像のサムネイルをダブルクリックすれば、画像が読み込まれる。



基本的な使い方

Photonickの操作方法は、一般的なグラフィックソフトと同じだ。左側に表示されるツールウィンドウからツールを選んで、マウスで画像を操作すればいい。ツールウィンドウに表示されるツールやキーボードの割り当てはカスタマイズすることもできる。処理が終わったら、「ファイル」メニューから「保存」や「別名で保存」を選ぶ。読み込める画像形式はJPEG、PICT、TIFF、CAM、EPSで、保存できる画像形式はJPEG、PICT、TIFFとなっている。

- | | |
|-------------|---------|
| 範囲選択 | ぼかし |
| 範囲選択 (投げ縄) | ノイズ除去 |
| 拡大表示 | 色選択 |
| 表示領域移動 | 右90度回転 |
| ペン | 180度回転 |
| 直線 | 左90度回転 |
| 複製ペン | 左右反転 |
| 距離測定 (ものさし) | 上下反転 |
| 塗りつぶし | サイズ変更 |
| 文字 | トーン調整 |
| 明るく | ファイルを開く |
| 暗く | 印刷 |



多彩なフォトタッチ機能

Photonickの「画像」メニューから「変形」、「調整」、「フィルター」、「合成」、「効果」を選べば、デジカメ画像の歪みやノイズを取り除いたり、さまざまな効果を与えたりできる。たとえば「調整」ではガンマ補正、トーン調整、色調整などで画像の明るさや色味を修正できるし、「合成」では2つの画像を半透明に重ね合わせることができる。



HTMLの自動作成もできる



サムネイル表示やフォトタッチ機能だけでなく、Photonickには一連の画像操作を自動実行する「アクション」や、「ビューシート」内の画像を次々と表示させる「スライドショー」など、便利な機能が満載だ。小さな画像をクリックすると画像が拡大されて表示されるようなウェブページを自動的に作成する機能もある。「ウィンドウ」メニューから「各種ウィンドウ」、「Webアルバム」を選べば、HTMLのファイル名やページのレイアウトを設定する画面が開く。「開始」をクリックして画像に1つずつコメントを付けていけば、簡単にウェブページができあがる。

生まれ変わった超定番ソフト

WWWC

Ver.1.0.0 b67



Get It!

<http://www.kinet.or.jp/naka/tomo/>

Win

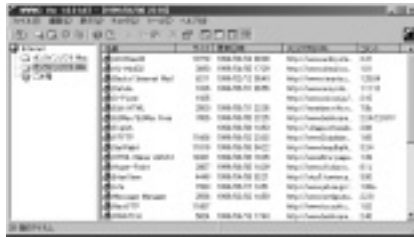
WWWCはウェブページ更新チェックソフトの定番だ。正式版は長らくVer.0.9.3のままだが、作者は全面的な作り直しを行っている最中で、Ver.1.0.0のベータ版が頻りにバージョンアップされているので要チェック。Ver.1.0.0は基本的な機能は同じだが、若干高速化している印象だ。またホームページでソースコードも同時に公開されている。

作者：中島智秋
種別：フリーソフトウェア
動作環境：ウィンドウズ95/98、NT

新しくなったWWWC

Ver.1.0.0の画面デザインは、今まで以上にウィンドウズのエクスプローラやIEに近いものになった。メニューやツールバーの位置が大きく変更されているので、今までのWWWCに慣れている人はとまどうかもしれない。

Ver.1.0.0での新機能には「自動チェック」がある。これまでは指定できる間隔が分単位だけだったが、時間や曜日、日付の指定もできるようになった。ベータ版でサポートされているプロトコルはHTTPだけで、Ver.0.9.3にあったFTPサイト上のファイルチェックや、SNTPを使った時刻の同期、メールチェックの機能はまだ追加されていないので注意。



Ver.0.9.3を使っている人は

ベータ版のデータ保存形式は、これまでのバージョンとはまったく違ったものになっているので、Ver.0.9.3の上に上書きインストールしても以前の設定は残らない。別のフォルダーにインストールして、下記のページにある「WWWCインポートツール」を使うといいだろう。

<http://www.shinobu-net.ocn.ne.jp/nakatool/>



リンゴの形が楽しいCDプレイヤー

Ringo CD Controller

Ver.2.2.0



Get It!

<http://www.powerbook.org/cybernet/>

Mac

ウィンドウズのMP3プレイヤーでは、さまざまな形のウィンドウや「スキン」という外観を変更する機能が流行している。Ringo CD Controllerはマッキントッシュ用のCDプレイヤーでMP3再生機能はないが、アップルマークの輪郭に落ち着いた色のデザインで、センスよくまとまったソフトだ。

作者：大浦崇
種別：フリーソフトウェア
CD-ROM収録先：
 Mac RingoCDController
動作環境：MacOS

機能はとてもシンプル

Ringo CD Controllerの機能はいたってシンプルだ。マシンに音楽CDをセットして、再生ボタンを押すだけでコントロールパネルの「QuickTime設定」で自動再生をオフにしておくといい。リンゴの右側に並んだボタンで再生や停止、早送り、巻き戻しをする。左側の上下にあるボタンではボリューム調整ができる。プレイヤーを移動させるには、リンゴの葉の部分をドラッグすればいい。



デザインを変えてみよう

Ringo CD Controllerの「カラー」メニューをクリックすると、iMacを思わせる「ストロベリー」や「ライム」など7色の中からプレイヤーの色を選択できる。また、最新のVer.2.2.0からは、流行のMP3プレイヤーのように、RingoMaskと呼ばれるプラグインで外観やボタンの位置を変更できるようになった。新しいRingoMaskは作者のホームページからダウンロードできる。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp